

検診の受け方

検診を受ける前

1 受診場所を決める

2つの受診方法があります。実施方法や対象年齢はP2で確認してください。

施設検診

医療機関で受ける検診です。
ご自身の都合にあわせて受診できます。

医療機関一覧はP17～22へ

集団検診

各会場を巡回する検診車で受ける検診です。
実施日が決まっています。

集団検診日程はP7～14へ

2 予約をする

予約方法はP15へ



検診当日

3 検診を受ける

●持ち物 特定健診はP3、がん検診はP5をご覧ください。

●受診券

①新潟市国民健康保険(緑) ②後期高齢者医療制度(ピンク)
③生活保護受給(青) ④その他の健康保険(青) の4種類あります。

- ・住所が変わった場合、市内転居は手続き不要です。
市外へ転居された方は、新潟市の受診券は使用できません。
- ・氏名が変わった場合、区役所で再交付手続きが必要です。
- ・①～④の健康保険が変わった場合は、区役所で再交付手続きが必要です。
ただし、①から②への変更は、そのまま使用できます。

検診を受けた後

4 結果を確認する

施設検診

受診した医療機関で結果を確認してください。

集団検診

受診した会場のある区役所健康福祉課から、1か月半～2か月以内に結果を郵送します。
精密検査が必要になった場合は、受診した会場のある区役所健康福祉課で書類をお渡します。

精密検査が必要になった場合は、必ず検査を受けてください。早期発見・早期治療で身体的、経済的負担が軽減されます。一方、検診で全てのがんを見つけることは難しく、また、精密検査になった場合でも、異常なしの結果になることもあります。早期発見のためには、検診を定期的に受けることが大切です。

今後の検診事業や受診率向上に役立てるため、検診受診歴や検査結果を利用させていただく場合があります。個人情報の管理には個人情報の保護に関する法律等を遵守し、この目的以外で利用することはありません。

各種検診メニュー

令和9年3月31日時点の年齢です

検診名	実施方法	対象年齢	自己負担額					
			40歳	41～59歳	60～69歳	70歳以上		
特定健診	施設	40歳以上	500円		無料	無料		
肺がん検診	集団	40歳以上	無料		無料			
胃がん検診	施設	バリウム 40歳・45歳・50歳以上	2,000円	1,000円			無料	
		内視鏡 40歳・45歳・50歳以上の偶数年齢		1,000円				
	集団	バリウム 40歳以上	無料	1,000円				
大腸がん検診	施設	40歳以上	1,000円					無料
乳がん検診※1	施設	40～69歳※2 偶数年齢の女性	1,000円					
	集団	40歳以上 偶数年齢の女性	1,000円					
子宮頸がん検診※1	施設	20歳以上 偶数年齢の女性	1,000円(20歳は無料)					
前立腺がん検診		50歳から 5歳間隔の男性	—	1,000円				
肝炎ウイルス検査		—	1度も受けたことがない方 無料					
ピロリ菌検査		40歳	1,000円	—				

※1 奇数年齢でも前年度未受診であれば受診できます

※2 70歳以上の検診車での受診が難しい方(車椅子ご利用の方等)は、乳がん検診(施設)を受診できます。

新潟市国民健康保険加入者

- ・がん検診の自己負担額は半額になります。
- ・受診時は加入資格がわかるものをお持ちください。

加入資格がわかるもの

P5をご覧ください

お得です!



65～74歳の後期高齢者医療制度加入者

- ・がん検診の自己負担額は無料になります。
- ・受診時は加入資格がわかるものをお持ちください。

市民税非課税世帯の方

- ・申請日時点で当該年度(6月30日までは前年度)、非課税世帯の方は無料券を交付します。
- ※令和8年1月1日(6月30日までの申請は令和7年1月1日)に、新潟市に住民票がない方は、1月1日時点の住所地の課税証明書が必要です。
- ・無料券は事前申請(受診の2週間前まで)が必要です。区役所健康福祉課に申請書を直接または郵送で提出してください。申請には本人確認書類が必要です。無料券は受診時にお持ちください。
 - ・世帯に未申告の方がいる場合は、区役所税担当窓口または市民税課で申告後に申請してください。認定には時間がかかる場合がありますのでご注意ください。

生活保護受給者・中国残留邦人の方

- ・検診ごとに生活保護受給証明書が必要です。区役所保護担当課で事前に証明書の交付を受け、受診時にお持ちください。

特定健診

問い合わせ先 新潟市保険年金課健康支援推進室
☎ 025-226-1075 FAX 025-226-4008

今の健康状態を正しく知るために、年に一度、特定健診を受けましょう。

対象となる方

40歳以上の
新潟市国民健康保険
加入者

新潟県後期高齢者
医療制度
加入者

生活保護受給者等

特定健診の 検査内容

(検査内容の詳細や
留意事項は受診券の
裏面でご確認
ください)

全
員



血液検査



血圧測定



尿検査



身体測定



診察・問診

該
当
者
の
み



貧血検査



眼底検査



心電図検査※

基準に該当し、医師が必要と認めた場合実施

※心電図検査は60歳以上で希望される方はお受けいただけます。ただし、心疾患・高血圧等で治療中の方など医師から検査が不要と判断された方は除きます。

自己負担額

新潟市国民健康保険加入者
(40～59歳)

500円

新潟市国民健康保険加入者(60歳以上)
新潟県後期高齢者医療制度加入者
生活保護受給者等

無料

※特定健診の検査項目以外を実施する場合は別途料金が必要です

特定健診の受け方

1

受診機関
を選ぶ

受診する医療機関を選び、予約します

受診できる医療機関はP17～22の委託医療機関一覧表でご確認ください

2

受診する

持ち物

1

受診券

2

質問票

あらかじめ
記載して持参

3

マイナ保険証※
または
資格確認書

4

自己負担金
上の表で
ご確認ください

※マイナ保険証未対応の医療機関では「資格情報のお知らせ」も必要
生活保護受給者は生活保護受給証明書

3

結果説明
を受ける



受診した医療機関等で
健診の結果説明を受けます

健診の結果、メタボリックシンドロームまたは予備群に該当した場合には、
健診を受けた医療機関もしくは区役所から特定保健指導をご案内します。

4

特定
保健指導
を受ける

内容

保健師や管理栄養士等が
生活習慣の改善を支援します。

特定保健指導の対象とならなかった方で、相談を希望される方は、
お住まいの区役所健康福祉課までお問い合わせください。

費用は「無料」です。



人間ドックを受診される方へ

受診券を利用し受診する場合

人間ドックの検査項目のうち特定健診と同一項目の検査について受診券が利用できる医療機関があります。

受診券が利用できる医療機関は、新潟市ホームページでご確認ください。

または、各区役所健康福祉課健康増進係(裏表紙参照)、保険年金課(☎025-226-1075)へお問い合わせください。

新潟市のホームページはこちらからご確認ください



注意事項

- 医療機関へご予約の際に、受診券が利用可能かご確認ください。(人間ドックのコースによっては利用できない場合があります)
- 持ち物は、受診する医療機関にご確認ください。
- 料金は人間ドック費用から受診券利用分を引いた金額となります。受診券を利用せず人間ドックを受診した場合、受診券利用分の払い戻しはできません。

受診券を利用せず受診した場合

—新潟市国民健康保険加入者の方—

[特定健診]の受診券を利用せず、人間ドックや職場健診を受診した場合は、健診結果(コピー)の提出にご協力ください。ご提出いただいた結果より、生活習慣病のリスクが高い方へ、特定保健指導をご案内します(無料)。提出方法は、保険年金課(☎025-226-1075)へお問い合わせください。

早めの受診で応募しよう! 特定健診受診者プレゼント

1 サウナと天然温泉 じょんのび館ペア招待券

株式会社 福川開発 **20** 名様

2 日帰り温泉花の湯館 ペア招待券

株式会社 廣越サービス **20** 名様

5 市文化施設ペア招待券

歴史博物館みなとぴあ
旧小澤家住宅
新津鉄道資料館
会津八一記念館
マリニピア日本海
ビュー福島潟
マンガ・アニメ情報館
りゅーとぴあワンコインコンサート

26 名様

どれが当たるかはお楽しみ!

3 ふれあい健康センター (アクアパークにいがた) ペア無料券

※使用期限: 令和10年3月31日

福田道路・オーエンスグループ **30** 名様

4 スポーツ教室割引券 (1枚2,000円)

スポーツ教室の一環は「にいがたスポーツ情報ナビ」HPをご確認ください。

公益財団法人 新潟市開発公社 **25** 名様

応募条件	令和8年4月1日～10月31日までに新潟市の特定健診を受診
応募期間	令和8年5月1日～11月10日
応募方法	<p>← スマホやパソコンから、新潟市ホームページで検索</p> <p>スマホ・パソコンからの応募ができない方は、新潟市役所コールセンターへお電話ください。 お聞きすること: 住所・氏名・生年月日・電話番号・希望の景品番号・受診日と受診場所 ☎025-243-4894 午前8時～午後9時(年中無休) ※午前8時～午前10時の時間帯は、お電話が非常に混み合うため、お待たせする場合があります。</p>

※いただいた個人情報は、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、それ以外には使用いたしません。当選者の発表は、景品の発送(令和8年12月下旬予定)をもってかえさせていただきます。

がん検診

問い合わせ先 新潟市保健所健康増進課

☎ 025-212-8162 FAX 025-246-5671

持ち物

加入の健康保険により受診時の持ち物が異なります。必ず確認をしてお持ちください。

新潟市国民健康保険

- 受診券
- 加入資格がわかるもの
- 自己負担金

後期高齢者医療制度

- 受診券
- 本人確認書類
- 加入資格がわかるもの
(65～74歳の方のみ)

生活保護受給者等

- 受診券
- 本人確認書類
- 生活保護受給証明書※
※証明書が不要な検診もあります。詳細は受診券裏面を参照

その他の保険

- 受診券
- 本人確認書類
- 自己負担金

加入資格がわかるもの

マイナ保険証※または資格確認書

※集団検診やマイナ保険証未対応の医療機関は「資格情報のお知らせ」も必要

本人確認書類

マイナンバーカード、運転免許証、年金手帳、障害者手帳など

集団検診にお越しになる方へ

- ★ インスリンポンプ・持続グルコース測定器を装着したまま受診はできません。受診の可否、機器の着脱等について事前に主治医にご確認ください。
- ★ 乳がん検診は、バスタオル(カーディガンや上着も可)を必ずお持ちください。
- ★ 肺がん・胃がん検診は、無地のTシャツまたは、ファスナー等の金属やボタンのない服装でお越しください。
(上記の服装でない場合は、有料(200円)の検診着への着替えが必要です)
- ★ 男性・女性専用日以外は、検診の順番が男女混合となる場合があります。



がん検診の受診可否について

問診の結果、体への影響を配慮し受診できない場合があります。対象疾患で治療中・経過観察中の方は、その検診を受診できません。自覚症状がある方は、医療機関での診療を受けてください。

肺がん(結核)検診



1年に1回

胸部X線(レントゲン)撮影

検診車で撮影します。65歳以上の方は、結核検診が法律で定められています。

集団検診 40歳以上

受診の前にお読みください

- ・「肺がん(結核)検診個人記録票」の注意事項をお読みいただき、必要事項を記入して当日お持ちください。
- ・個人的に医療機関等で受診する場合は有料となります。

次の方は受診できません

- ・肺の疾患で受療中の方や経過観察中の方
- ・6か月以内にたんに血が混じったことがある方(医療機関を受診することをおすすめします。)
- ・現在妊娠中、または妊娠していると思われる方

乳がん検診

女性限定

2年に1回

マンモグラフィ検査 (乳房X線撮影)

40歳代は2方向、50歳以上は1方向のみ撮影します。

※70歳以上の方は集団検診での受診となります。

集団検診 40歳以上の偶数年齢

施設検診 40歳～69歳(70歳以上の車いす利用者等)の偶数年齢

奇数年齢でも前年度未受診であれば受診可能です。

受診の前にお読みください

- ・乳房を圧迫して撮影するため、多少の痛みを伴います。生理前は乳房が張ることがありますので、避けることをおすすめします。
- ・制汗剤やパウダーなどをつけずに受診してください。パウダー等ががんのサインである石灰化に似て写ることがあります。
- ・過去に精密検査を受け「良性所見情報」をお持ちの方は、写しを当日お持ちください。

次の方は受診できません

- ・豊胸手術(ヒアルロン酸注入含む)を受けた方、妊娠中、授乳中の方、卒業後6か月経過していない方
- ・ペースメーカー、VPシャント、皮下埋め込み型ポート、植込み型除細動器など医療機器が前胸部に入っている方
- ・乳がんの既往歴があり、経過観察中(概ね10年)の方

対象となる方

40歳以上で、下記のいずれかに該当する方が対象です。

- 新潟市国民健康保険加入者
- 新潟県後期高齢者医療制度加入者
- 生活保護受給者等
- 職場や加入している健康保険でがん検診を受ける機会等がない方

職場等で検診を受ける機会のある方や、費用の補助がある方は、市のがん検診を受けることはできません。勤務先や加入している健康保険の保険者へお問い合わせください。

胃がん検診

検査方法は2種類。どちらかを選択して受診。

X線撮影(バリウム)検査

バリウム(造影剤)と発泡剤を飲み胃を膨らませて撮影します。

集団検診 40歳以上

施設検診 40歳、45歳、50歳以上

受診の前にお読みください

- ・ 集団検診を受診する際は、「胃がん検診個人記録票」裏面をお読みいただき、必要事項を記入して当日お持ちください。
- ・ 体重130kg以上の方は撮影装置の安全面上検査できない場合があります。
- ・ 高齢の方は、自覚症状がなくても誤嚥を起こすことがありますので、医療機関での検診をおすすめします。

胃内視鏡(胃カメラ)検査

胃内視鏡(胃カメラ)を挿入して観察します。

施設検診 40歳、45歳、50歳以上の偶数年齢

次の方は受診できません

【X線・内視鏡共通】

- ・ 胃を全摘した方
- ・ 妊娠中の方
- ・ 胃がんで内視鏡切除(ESD)を受けた方で、経過観察中(概ね5年)の方
- ・ 胃がんや胃・十二指腸かいよう、ポリープ等で治療中の方

【X線のみ】

- ・ ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方
- ・ 検査当日を含め3日間以上排便がない方(排便後に受診してください)
- ・ 腸閉塞になったことがある方
- ・ バリウムアレルギーの方
- ・ 1年以内に消化管、循環器、呼吸器、頭部などの手術や寝台で回転する(体の向きを変える)のに影響がある整形外科系などの手術をした方

【内視鏡のみ】

- ・ 抗血栓薬(ワーファリン等)服用中の方(少しの刺激でも粘膜から出血を起こす場合があります、止血に高度な技術が必要になるため)
- ・ 明らかな出血傾向またはその疑いがある方

ピロリ菌検査

対象年齢で1回のみ

血液検査

(胃内視鏡検査または特定健診と同時実施)

新潟市国民健康保険加入者
生活保護受給者等

その他の保険

特定健診とあわせて実施

新潟市胃がん検診(胃内視鏡検査)と同時実施

ピロリ菌の除菌が成功しても定期的な胃がん検診は必要です。

施設検診 40歳

次の方は受診できません

- ・ 胃の手術をした方(胃がんの内視鏡的治療も含む)
- ・ ピロリ菌の除菌療法を受けた方

大腸がん検診

1年に1回

便潜血検査(2日法)

便に潜む血液の有無を調べる検査(検便)を行います。自宅で2日分の便を採取します。2日分を検査することが重要です。

施設検診 40歳以上

生理期間中や、痔で出血しやすい状態での検査は避けてください。

子宮頸がん検診

女性限定 2年に1回

子宮頸部細胞診検査

子宮頸部の細胞を採取します。

次の方は受診できません

- ・ 子宮を全摘した方
- ※状況により異なりますのでお問い合わせください。

施設検診 20歳以上の偶数年齢

奇数年齢でも前年度未受診であれば受診可能です。

前立腺がん検診

男性限定 5年に1回

血液検査(PSA検査)

施設検診 50歳から5歳間隔(50歳・55歳…)

肝炎ウイルス検査

1度も受けていない方

血液検査(B型肝炎およびC型肝炎)

施設検診 1度も受けたことがない方

お口の健康長寿健診

無料 該当年齢のみ

かむ・飲み込む等の口腔機能検査

滑舌や唾液の嚥下回数を測定し、歯科健診をします。

持ち物：受診券、加入資格がわかるもの

施設健診 76歳(S25.4.2~S26.4.1生)
80歳(S21.4.2~S22.4.1生)



医療機関名簿はこちら